

◆ 今週のコメント

- 急性脳炎の報告が1例(10歳未満男性)あり、症状は発熱、痙攣、意識障害です。本年の累積報告数は7例となっています。本疾患の平成27年の報告数が3件であったことから、約3ヶ月で昨年報告数の2倍以上となりました。この7件を年齢階級別にみると、10歳未満が4件と約半数を占め、このうち3件はインフルエンザウイルスAが原因と報告されています。
- ジアルジア症の報告が1例(20歳代男性)あり、症状は下痢で、推定感染地域は国外(インド)です。本年の累積報告数は2例で、いずれも帰国後に発症した輸入症例です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(80歳代女性)あり、本年の累積報告数は34例となっています。60歳以上の高齢者に多く発症しており、ワクチンによる予防が重要となります。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市情報館「高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告が3例(40歳代, 50歳代, 80歳代すべて男性)あり、平成26年9月19日に五類感染症の定点把握から全数把握に変更されて以来、本市における初めての報告です。症状はいずれも尿路感染症です。本疾患における届出基準や届出に必要な要件等については、下記のホームページを御覧ください。
○厚生労働省「薬剤耐性アシネトバクター感染症 感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-140912-4.html>

◆ 今週のトピックス: <流行性耳下腺炎>

- 京都市の流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の定点当たり報告数は0.66(27例)となり、前週0.37(15例)から増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 6例(肺結核 3例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 4例
【1月以降の累積報告数 77例(肺結核 45例, その他結核 13例, 潜在性結核感染者 19例)うち喀痰塗抹陽性28例】
- 五類:急性脳炎 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- 五類:ジアルジア症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 34例】
- 五類:薬剤耐性アシネトバクター感染症 3例【1月以降の累積報告数 3例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	7.43	505
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.90	242
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.93	38
	③ 流行性耳下腺炎	0.66	27
	④ 水痘	0.37	15
	⑤ 突発性発しん	0.27	11
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

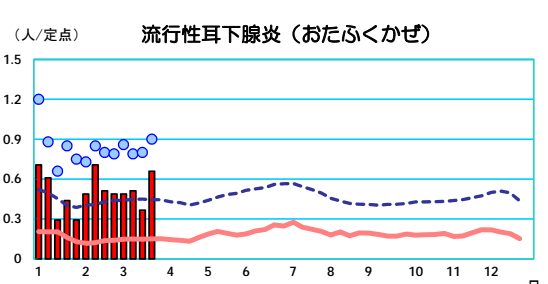
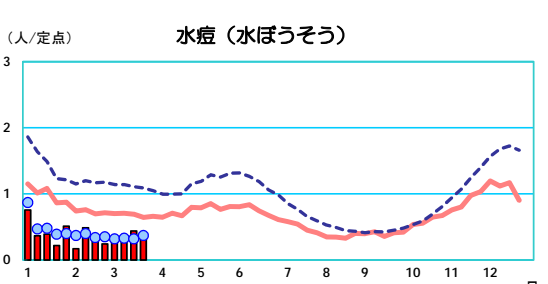
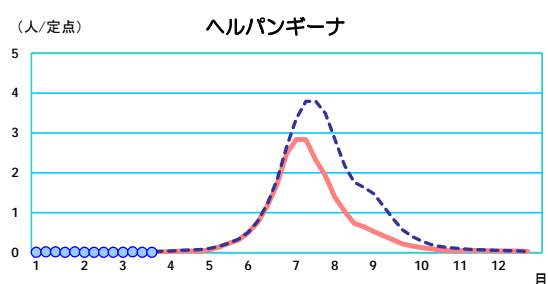
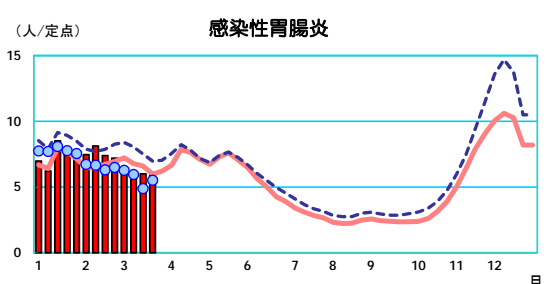
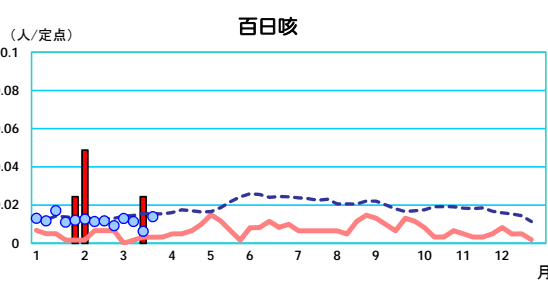
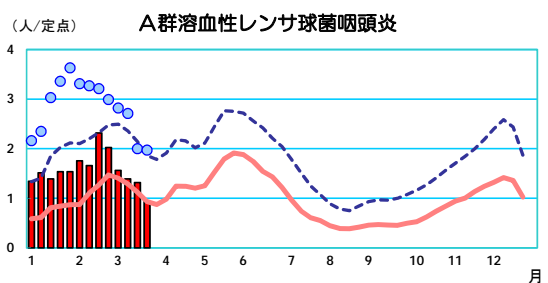
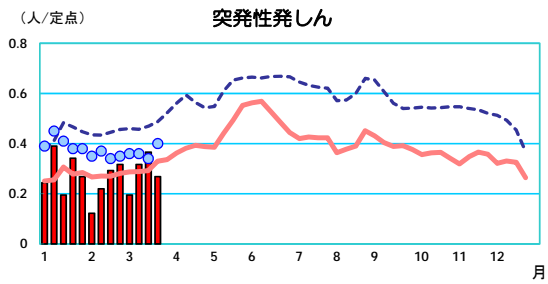
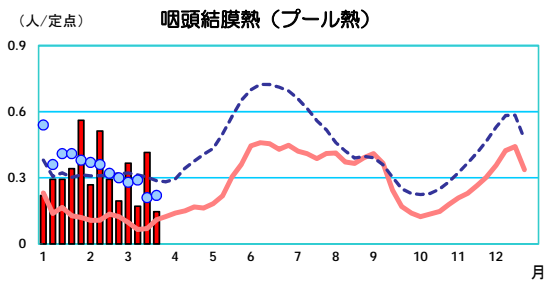
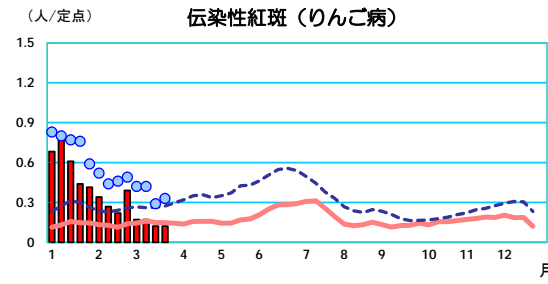
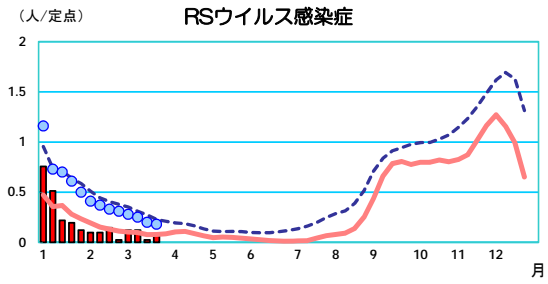
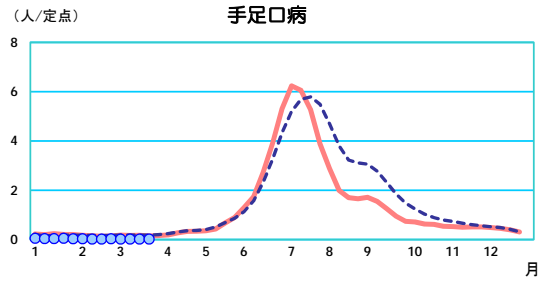
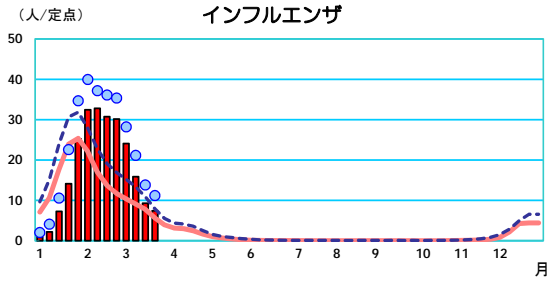
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <流行性耳下腺炎>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年4月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）

■ 京都市_本年 — 京都市_過去5年平均値
● 全国_本年 - - - 全国_過去5年平均値



第13週(3月28日～4月3日)トピックス: <流行性耳下腺炎>

京都市及び全国の発生動向

京都市の流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の定点当たり報告数は0.66(27例)となり、前週0.37(15例)から増加しました(図1)。第5週以降、過去5年間と比べ報告数の多い状況が続いています(図2)。全国の定点当たり報告数は0.90となり、全国過去5年平均値を依然として上回っています(図1)。都道府県別でみると多い順に宮崎県、奈良県、山形県となっており(図3)、近畿6府県ではすべてで前週を上回っています。最近では4～5年の周期で流行する傾向にあることから、今後の発生動向に注意が必要です。

症状

流行性耳下腺炎は、ムンプスウイルスの感染を原因として発症する感染症です。2～3週間の潜伏期を経て発症し、片側または両側の耳下腺の腫脹、疼痛、発熱を主症状とします。感染しても症状の現れない不顕性感染が30～35%あるといわれています。発症しても通常は1～2週間で軽快する予後良好の疾患ですが、無菌性髄膜炎、脳炎、難聴、睪炎、辜丸炎、卵巣炎等の合併症を起こす場合があります。

効果的に予防する方法としてワクチン接種があり、任意接種となります。接種を希望する場合は、医師に相談しましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

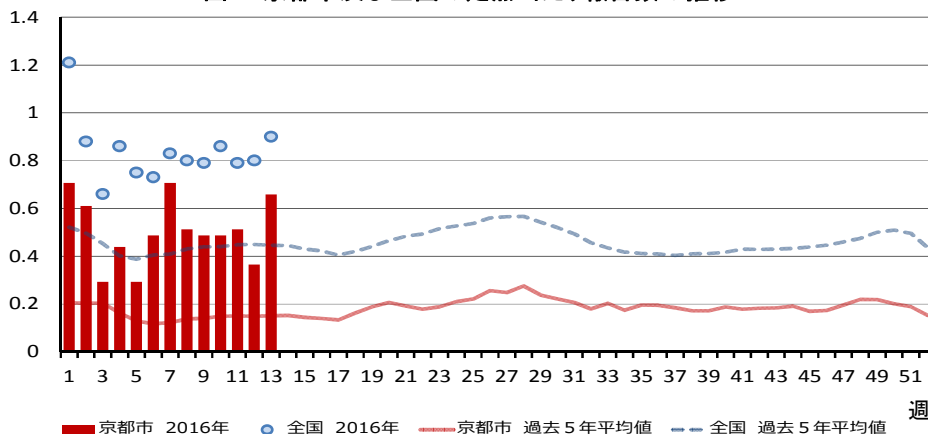


図2 京都市の定点当たり報告数の推移(2011年以降)

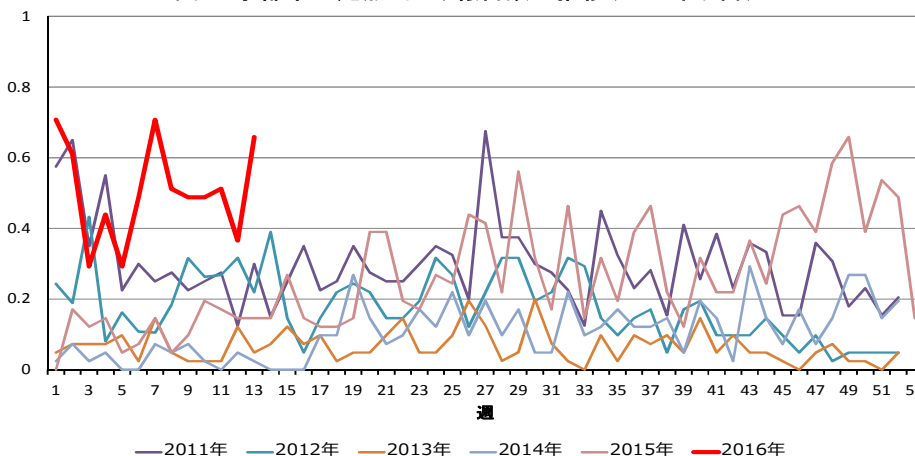
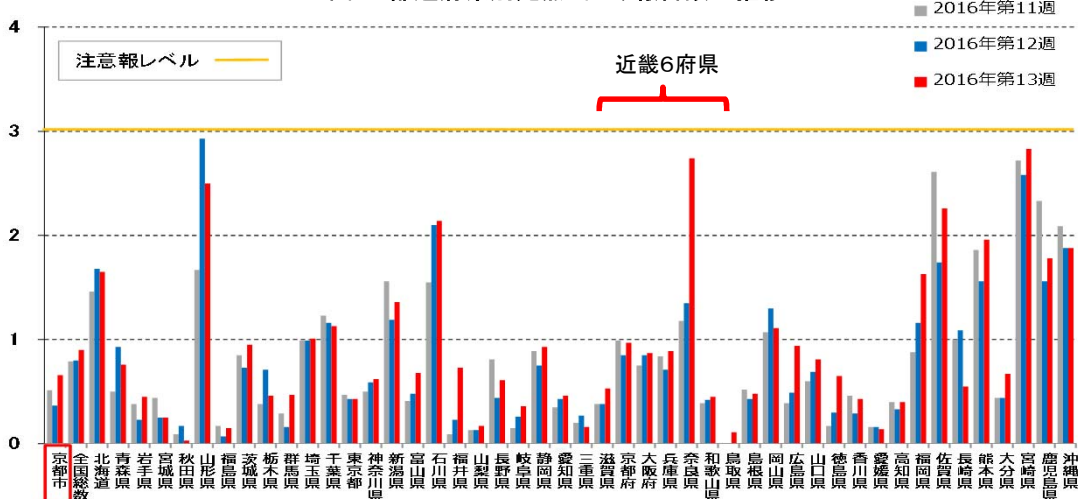


図3 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第13週

疾病,行政区別報告数

平成28年3月28日～平成28年4月3日

データ入手日:平成28年4月7日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	35	-	-	2	9	1	-	-	-	-	-	1	-	1						
上京	23	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1						
左京	74	-	-	5	20	1	-	-	2	-	-	-	-	-						
中京	30	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	26	-	-	1	12	-	-	-	-	-	1	1								
山科	35	1	-	3	14	3	-	1	-	-	-	1	-	-						
下京	17	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1								
南	64	-	2	-	21	-	-	-	1	-	-	-								
右京	55	-	2	7	46	1	-	1	3	-	-	4	-	1						
伏見	93	-	1	9	64	4	-	2	4	-	-	15	-	-						
西京	53	2	1	10	48	5	-	1	-	-	-	3	-	-						
京都市計	505	3	6	38	242	15	-	5	11	-	1	27	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	5.00	-	-	0.50	2.25	0.25	-	-	-	-	-	0.25	-	1.00						
上京	4.60	-	-	-	0.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	1.00						
左京	10.57	-	-	1.25	5.00	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
中京	6.00	-	-	0.33	2.00	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	8.67	-	-	0.50	6.00	-	-	-	-	-	0.50	0.50								
山科	5.83	0.33	-	1.00	4.67	1.00	-	0.33	-	-	-	0.33	-	-						
下京	5.67	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	0.50								
南	12.80	-	0.67	-	7.00	-	-	-	0.33	-	-	-								
右京	6.88	-	0.40	1.40	9.20	0.20	-	0.20	0.60	-	-	0.80	-	1.00						
伏見	8.45	-	0.14	1.29	9.14	0.57	-	0.29	0.57	-	-	2.14	-	-						
西京	6.63	0.40	0.20	2.00	9.60	1.00	-	0.20	-	-	-	0.60	-	-						
京都市計	7.43	0.07	0.15	0.93	5.90	0.37	-	0.12	0.27	-	0.02	0.66	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第13週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年3月28日～平成28年4月3日

データ入手日:平成28年4月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	505	4	5	14	21	25	23	27	19	19	23	14	49	20	47	42	55	40	26	17	15
RSウイルス感染症	年齢1	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	6	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	38	-	-	2	3	3	5	4	4	1	6	3	2	1	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	242	4	10	41	41	25	19	16	14	16	11	6	15	7	17	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢3	15	-	1	1	-	-	2	2	1	2	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	5	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	11	-	8	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	27	-	-	-	4	-	1	3	4	10	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	3	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	7.43	0.06	0.07	0.21	0.31	0.37	0.34	0.40	0.28	0.28	0.34	0.21	0.72	0.29	0.69	0.62	0.81	0.59	0.38	0.25	0.22
RSウイルス感染症	年齢1	0.07	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.15	-	-	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.93	-	-	0.05	0.07	0.07	0.12	0.10	0.10	0.02	0.15	0.07	0.05	0.02	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	5.90	0.10	0.24	1.00	1.00	0.61	0.46	0.39	0.34	0.39	0.27	0.15	0.37	0.17	0.41	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢3	0.37	-	0.02	0.02	-	-	0.05	0.05	0.02	0.05	0.07	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.12	-	-	-	-	-	-	0.05	-	0.02	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.27	-	0.20	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.66	-	-	-	0.10	-	0.02	0.07	0.10	0.24	0.05	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.30	-	-	0.10	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第13週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年4月7日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	2,090	2,051	1,639	1,080	632	505
RSウイルス感染症	6	1	5	5	1	3
咽頭結膜熱	12	8	15	7	17	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	95	83	64	57	54	38
感染性胃腸炎	303	295	256	240	246	242
水痘	13	10	12	11	18	15
手足口病	1	1	1	1	1	-
伝染性紅斑	9	16	7	7	5	5
突発性発しん	12	13	8	13	15	11
百日咳	-	-	-	-	1	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	2	-	1
流行性耳下腺炎	21	20	20	21	15	27
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	2	2	-	4	3
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2,563	2,500	2,029	1,444	1,009	856

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	30.74	30.16	24.10	15.88	9.29	7.43
RSウイルス感染症	0.15	0.02	0.12	0.12	0.02	0.07
咽頭結膜熱	0.29	0.20	0.37	0.17	0.41	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.32	2.02	1.56	1.39	1.32	0.93
感染性胃腸炎	7.39	7.20	6.24	5.85	6.00	5.90
水痘	0.32	0.24	0.29	0.27	0.44	0.37
手足口病	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-
伝染性紅斑	0.22	0.39	0.17	0.17	0.12	0.12
突発性発しん	0.29	0.32	0.20	0.32	0.37	0.27
百日咳	-	-	-	-	0.02	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	0.05	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.51	0.49	0.49	0.51	0.37	0.66
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.20	0.20	-	0.40	0.30
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	42.35	41.26	33.77	24.76	18.79	16.21

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。